# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

61-133933

(43) Date of publication of application: 21.06.1986

(51) Int. CI.

G03B 17/12

(21) Application number : 59-256872

(71) Applicant: KONISHIROKU PHOTO IND CO LTD

(22) Date of filing:

04. 12. 1984

(72) Inventor: YAMADA MINORU

ITO EIJI MIYAMA KENJI

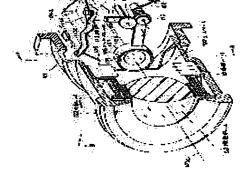
SAWAMURA MASATAKA

## (54) TWO FOCUS CAMERA

# (57) Abstract:

PURPOSE: To simplify a power transfer mechanism, and to transfer the power efficiently by placing a lens driving motor in the outside of a rear photographing optical path of a front lens unit, and in a gap formed by an arrangement of a rear lens unit.

CONSTITUTION: When a movable lens unit 102 is brought to a collapsible barrel against a lens barrel base part 101 fixed to the front of a camera body, an abutting piece 113c of the tip of a lever 113 is pressed by a receiving plate 121 of a base part 101, the lever 113 is turned counterclockwise, and by turning gears 111, 110 through levers B113b, A112, a conversion lens 106 is rotated counterclockwise, moved from an optical path 103a of a photographing use main lens 50, and withdrawn into a space 102a in the unit 102. In this way, a photographing optical system is switched to a short focus system, and occupies a



rear gap of a rear lens unit 10, but a dead space is left. Accordingly, a lens driving motor can be placed in the dead space.

### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office

⑲ 日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

# 母公開特許公報(A)

昭61 - 133933

@int\_Cl.4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和61年(1986)6月21日

G 03 B 17/12

7610-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

会発明の名称

明

砂発

の出

2 焦点カメラ

创特 頤 昭59-256872

❷出 展頂 昭59(1984)12月4日

ш H 勿発 92 伊 24 眀 藤 砂羚 **個籍** 蚏 磔 ш

治 雅

人王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内 八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

入王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

小西六写真工業株式会

の代 理

弁理士 野田

村

2 焦点カメラ

- 存許請求の範囲
- 後方レンズユニットが光路に出入して 2 焦点 光学系を形成する 2 焦点カメラにおいて、前方レ ンメユニットの後方撮影光路外で、前配後方レン ズユニットの配置によって形成されるギャップを 利用して、レンズ駆動用モータを配置したことを 特徴とする2歳なカメラ。
- 加記モータの軸を撮影光軸に平行した方向に 配置したことを特徴とする特許請求の範囲第1項 記載の 2 焦点カノラ。
- 処例の評細な説明
- (電楽上の利用分野)

本発明は、焦点調節のための駆動用モータをレ ンズ鏡 胴内に配置した 2 焦点カメラに関するもの

〔従来の技術〕

共通の光学系で焦点距離を長・短2段階に切換

**えられる2点点カメラの撮影光学系は、一般に類** 影用主レンズとコンパージョンレンズとから成り、 その双方を組合せることにより長編点距離をまた コンパージョンレンズを外して前配堆影用主レン ズのみを使用することにより短角点距離を得るよ うに構成されている。

との撮影光学系の切換の操作は、解述した撮影 用主レンズとコンパージョンレンズを共に収容し た可動レンズユニットと呼ばれるレンズ鎮腸を、 カメラ本体から引き出したりあるいは沈朗させた りする動作によって行なわれるようになっている のが普通である。

かかる 2 焦点カメラに対して自動焦点開業装置 組込む場合、前述した可動レンズユュットには 新記機 杉 用 中 レンズを 合 集 位 屋 に 作 動 し 解 御 士 る ための各部材が組込まれることになるが、それら の各部材を駆動する動力派なるモータがカメラ本 体内に配置されていることが多いため、動力の伝 選機構が操影用主レンズの移動に追随して機能す るものであることが要件となって構造が複雑化し、

#### 特開昭61-133933(2)

また伝達距離も長くなって作動効率の低下が避け ちれない。

〔発明が解決しようとする問題点〕

本発明は、2 無点カメラにおける合無操作のための動力源たるモータを可動レンズユニット内に 配数することを可能として、動力の伝達機構の単 純化と効率化を図ることを目的としたものである。 〔問題点を解決するための手段〕

本発明は、可動レンズユニットの鏡刷内においてコンパージョンレンズユニットがらめる所面空間の残されたスペース内に前配モータを収容し、それによって鍵をモータを撮影用主レンズに対し近で、をした一定の距離に配置するよう様に出入して、放力した。後方レンズユニットの配置によって形成されるで、ア本利して、レンズ駆動用モータを配置したことを特徴とする2 無点カメラによって遺成される。(実施例)

取付蓋 根に植設したストップピン 109 に当接して 停止している。

110 は前記支持部材 107 にその回動中心を一致して取付けた歯車で、同じく前記取付基板に軸着された別の歯車 111 と離合している。

112 は前記資車 111 にその回動中心を一致して 一体に取付けたレバーA でその左何燐面は断面が 円弧状に形成されている。

115 は前記可動レンズユェット 102 の内周面に 設けた 突起 104a に軸着した複杆で繰りばね 114 に よって反時計方向に付勢されているが数 扱りばね 114 は 前記援りばね 108 に比し着しくその付勢力 を小さく設定されているので前配根杆 113 は、それと一体に形成した軸魔 113a に設けたレバー B113b が前記レバー A112 に対して直交する形で当接する ことにより図示位置にて停止している。なお前記 レバー B113b の右側構画も前記レバー A 112 同様 にその断面が円銀状に形成されていて強力に押圧 した場合でも作動が円滑かつ正確に伝達されるようになっている。 本発明の1 実施例を第1 図ないし線4 図に示す。
101 はカノラ本体(図示せず)の前面に固定された健康基部、102 は前配銭開基部 101 に内袋して前径に増動して図示の如く引き出しあるいはその反対に比解出来るよう取付けられた可動レンズユニットである。

50 は類影用主レンズで電磁ユニット10 およびその故方に配設した合無装置と共に撮影光学系の約カレンズユニットを形成し、カメラ本体の制御装置によって終光および無点関節の割御を受けるようになっている。

105 は前記操影用主レンズ60の光路を制限する 連光枠、106 は前記電磁ユニット10 と鉄端光枠105 の間に記設されたコンパージャンレンズで、その 光軸は前記撮影用主レンズ50の光軸103mの延長線 上に一致するよう置かれている。

107 は前配コンパージョンレンズ 106 を保持する支持部材で、前記電磁ユニット10の取付基板(図示せず)に結着され、扱りばね 108 によって時計方向に付勢された状態にあるが、同じく前記

かくして、これらの各部材と前配コンバーションレンズ 106 は前途した前方レンズユニットに対して撮影光学系における徒方レンズユュットを形成している。

かかる状態で撮影光学系は長無点系を構成しているが、約記可動レンズユニット 102 をカメラ本件の前面に固定された約記鏡解基部 101 に対して沈陽させると、終記様杆 113 の先端に取付けた過級片11.3c がカメラ本体の筋面に固定された鏡調基部 101 にある受け板 121 によって押圧されるので、筋配接杆 113 を反時計方向に固動し約記レバーB 113b、レバー A112 を介して歯車 111,110 を固動することにより、前記コンバーションレンズ 106を反時計方向に大きく回転して前記撮影用主レンズ50の光解103b より移動して可動レンズユニット 102 内のスペース102 内に建設させる。

かくして撮影用光学系は短無点系に切換えられることとなり、このように無点距離の切換に当って、接方レンズニュットは前記電磁ニニット10の 後方のギャップすなわち所面空間をその内局上の

### 特開昭61-133933(3)

選半にわたって占有することとなるが、その反対 何の円周上に使用されないデッドスペース102bを 残している。よって本名明においては眩デッドスペース102bに焦点調節終健の動力源たるレンス駆 励用のモータ60を配便することを提案するもので ある。

すなわち前配デッドスペース102bの具体的位置 は第2回および第3回に示す如く、前配電磁ニニット10と遮光枠 105の間において撮影用主レンズ 50 が包括する光路 103b を囲むほぼ環状のスペースの一部であって、何配使方レンズニニットと同一所面上の空間である。

特記デットスペース102bは電磁ユニット10を介して合無装置に至近の位置にあり、 試デットスペース102b にモータ60を配置することによりそれ等の接続が容易となり、 さらに可動レンズユニット102 として合無装置と一体で移動されるので接続構造も単純となり、 自動 無点調節装置の組込み上題る有利な構造となる。

なお本名明によって可動レンズユニット 102 内

たお、放ストップ爪24 はフランジ部21を貫通した 電磁ニニット10 の前記規制ビン11 の係止作用を受け時計方向への回転が阻止されている。

一方、前記円筒部26の周面には3本の底逸得27を等間隔にて光軸方向に設け、その内局に摺動可能に嵌合した堆影用主レンズ50のガイドピン51をそれぞれ使入して跛塊影用主レンズ50を光軸方向に進退出来るよう保持している。

40 は前記レンズガイド20 の円筒部26の外居に回動自在に映合するレンズ駆動部材で、その円筒部41 に設けた3 本のカム 神42 が撮影用主レンズ50 の同記がイドビン51をそれぞれ鉄造せしめ、前配厚進得27 と共働して撮影用主レンズ50 の回遠位電を規制する状態を形成している。また前配レンズの動部材40 はフランジ部46 に個えた曲草部分47 を介してモータ60 のビニオン61 により図示位酸から時計方向への回転とその復帰のための逆転が出来るようになっている。

30 は解記レンズ駆動部材40 の円筒部41 に外級するレンズ位置決め囲材で、その溶面には撮影用主

に配置されたモーク60 による具体的な自動無点調節整置の構成とその作動を第 4 図によって説明すると次の通りである。

図は本典量を排成する各部材を光軸方向に展開して示したもので、これ等各部材はカメラの鏡扇部にユュットとして組込まれ、カメラ本体質に備えた電源と創御装置により駆動、創御されるものである。

10 は鏡網内に固定した電磁ユュットで、その内部には操影光学系の輝光量を制御する第 1 可助コイル部材(図示せず)と張遠する係止部材を規制するための規制ビン11を推改した第 2 可動コイル部材1 2 とを光軸を中心として関動出来る状態で収容している。

20 は前記電磁ユニット10 の前面に取付けたレンズがイドでフラング部21 と円筒部26 とから成り、フランジ部21上には前述した制御装置にレンズ位置の情報を送るための検出用パターンをもったブリント 復22 および引張ばね23によって時計方向に付勢されるストップ爪24を軸着して備えている。

レンズ50のガイドビン51を当接することにより鉄 撮影用主レンズ50を所定の焦点位置に設定するた めの設力 4.31 を前記ガイドビン51に対応した位置 に 3.個所設けている。前記レンズ位置決め部材30 と前記レンズ駆動部材40とはレンズ位置決め部材 3.0 の典起32に取付けた押圧パネ33の先端が、レン ズ駆動部材40のフランジ部46に設けた V 字状の切 欠48に係合することによって一体とされ、前記モ ー 0 5.0 により同時に回転される状態となっている。

たお、この状態で前記レンズ収動部材40のカム 第42は、前記レンズ位置決め部材30の収カム31と ほぼ平行して配置され、かつ漆カム42が規劃して いる撮影用主レンズ50の前記ガイドピン51を前記 彼カム31に抵触させない位置に僅かに離間して設 けられているものとする。

また前記レンズ位置決め部材30の他方の突起34 には、接片35が取付けられていて、前配レンズ駆動部材40の回転に従って、前配レンズガイド20のプリント板22上の断続した回路バターンを預動することにより、前配制御装置にパルス倍号を送る

### 特開昭61-133933(4)

ようになっており、また他の部分には動詞御袋優からの信号により作動する前記ストップ爪24を係合すべき爪曲36を形成している。

かかるレンズ駆動部材40とレンズ位置決め部材30とは、前配レンズガイド20のフランジ那21の前間と、敵フランジ部21に3本の柱71を介して取付けられた神太板70の背面との関に挟持され図動自在に支持された状態とされている。

次にその作用と機能について説明する。

カイラのレリーズを操作する動作に逃動して関係基準が被写体距離を検出し、その情報を前記部報選量に入力する。それと同時に安全のために先す前記第2可動コイル部材12に通電して前記規制ビン11に時計方向の回転トルタを与え、前記ストップ爪24が不用意に伸起レンズ位置決め部材30の爪歯36と係合していた場合、それを解除する作用をする。

前記規制ビン11の作動に若干速れて前記モータ 60が始動し前記レンズ駆動部材40と前記レンズ位 置決め都材30を同時に時計方向に回転させる。

プに当接し、放塊が用主レンズ50を測距装置の距離情報に対応した光軸上の位置に設定したのち所定の時間を経てモータ60が停止し回転を終える。

かくして被写体に対する撮影用主レンズ50の合 魚が行なわれ、 続いて前配第 1 可動っイル部材の 作動によりば出を行なって撮影を終えるとその 信 号によって前配第 2 可動っイル部材12が再び 超動 して前配規制ビン11 を時計方向に移動し、 舶記ストップ爪24を前記爪曲36 との係合から外す。

次いでモーク60が逆回転を始め、先ず前配レンズ駆動部材40を反時計方向に回転して撮影用主レンズ50を直離的に向逃させたあと、その切欠48が前配レンズ位便決め部材30の神圧バネ33を係合する位置に達すると、数レンズ位置決め部材30を一体として共に反時計方向に回転して追初の決態に役場させた後、モーク60が停止して作用を終了する。

なお、モータ60の逆回転に際して前記レンズ位 世次め都材30が押圧パネ33と切欠48との係合による一体化の前に度振等によって従助回転すること

前記第2可動コイル部材12の作動に続いてモーク60が再び回転を始め前記レンズ駆動部材40をさらに時計方向に回転するので、レンズ位置決め部材30に取付けた押圧パネ33は切欠48から外れ、レンズ駆動部材40だけが単数で回転を続けることとなる。

このレンズ駆動部材40の回転により前記設力よ 31 より離間した位置に保持されていた規能用主レ ンズ50のガイドビン51 は飲力 431 の所定のステッ

があっても、その金回転角度は制限されているため前記レンズ収象部材40の復用中には必ず係合して前述した状態に達した硬停止されるようになる。 [ 発質の効果]

本発明により、モータの動力によって焦点調節 装置を駆動する動力伝達機構が簡単かつ効率的と なり、しかもカメラ本体のコンパクト化にも成果 のある自動焦点式の2焦点カメラが実現すること となった。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明の2条点カメラにおける可動 レンズユニットの斜視図。第2、第3回はその要 等所面図。第4回は前記2条点カメラに組込まれる焦点異節装置の1何を示す歴期斜視図。

102 ……可助レンズユニット

102 a ..... スペース

102b ---- デッドスペース

50 ----・・ 焼 彩 用 主 レ ン ズ

103 a …… 先 軸

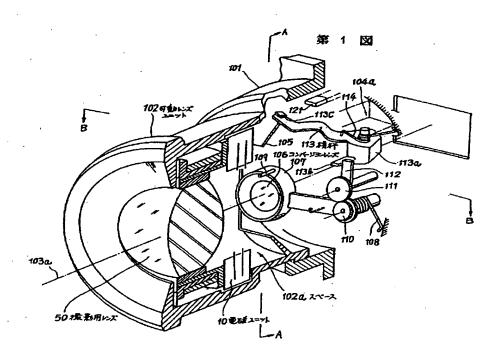
1036 ---- 尤 路

105 …… 遮光枠

106 …… コンバージョンレンズ

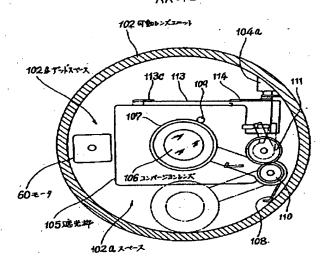
10 ……… 常政ユニット - 60 ……… モータ

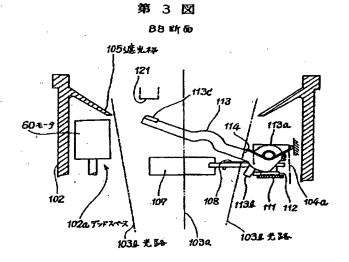
代理人 弁理士 野 田 藕 親



<del>-197-</del>

第2図





第4図

